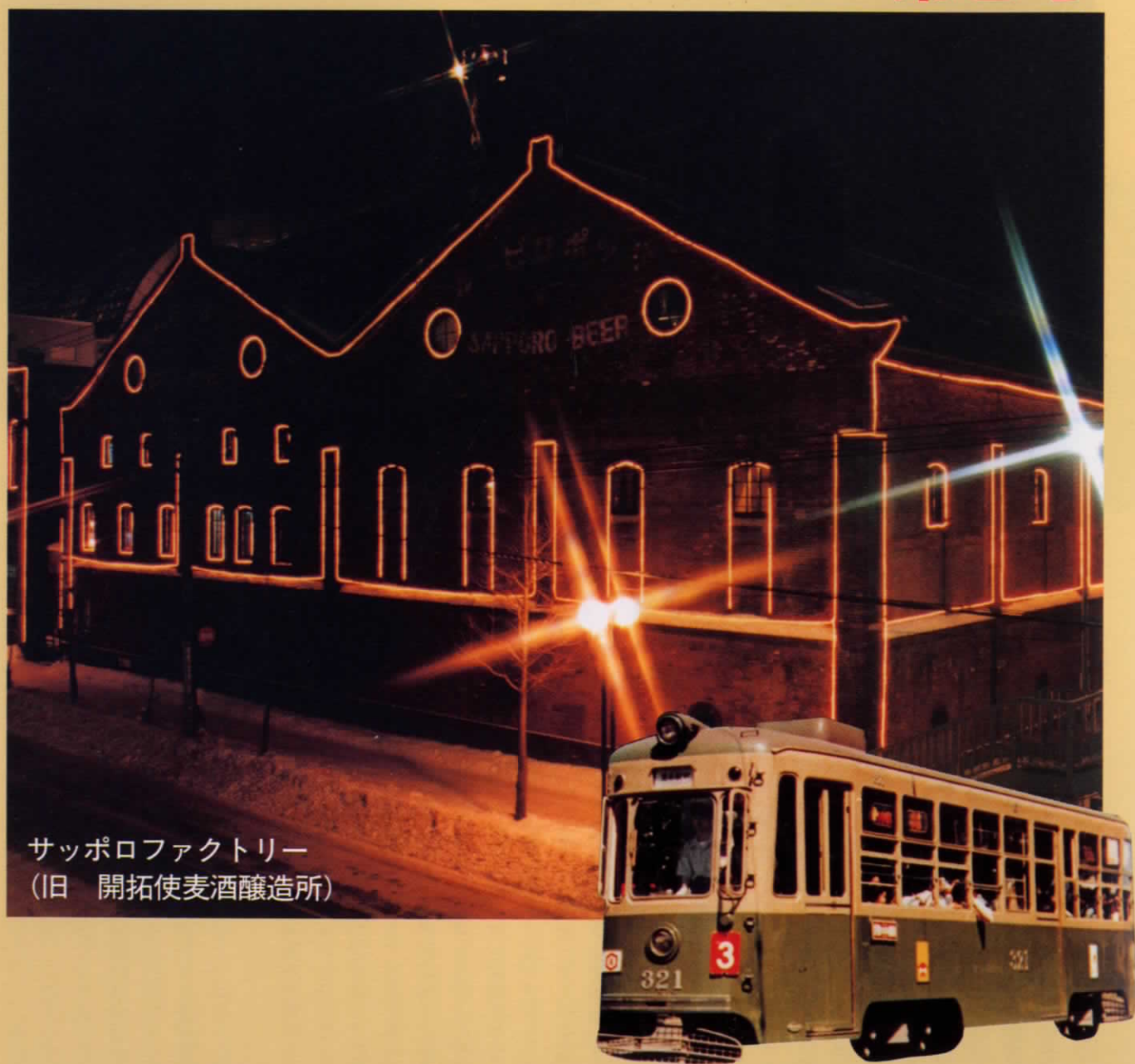


市電の ふるさと

第8号



サッポロファクトリー
(旧 開拓使麦酒醸造所)

鋼製2軸ボギー電動客車
(昭和32年5月～48年4月)

探検市電

～ヨーロッパの市電を見てみよう～

今、路面電車に新しい風が起こりつつあります。それは、LRT (Light Rail Transit=軽快電車)です。日本では、昨年8月に初めて熊本で導入されたLRTですが、ヨーロッパでは20年ほど前から路面電車が再評価され始め、現在23カ国50都市で活躍しています。

そこで、ヨーロッパの路面電車 (LRT) を紹介します。

札幌の市電の未来もここにあるかもしれませんよ。

(写真提供：内山知之氏)



▲ フランクフルト

ミュンヘン ▶



▼ ベルリン



ドイツ

ドイツは、多くの都市が路面電車の軌道を改良して、LRTを走らせているLRT先進国です。

札幌の姉妹都市ミュンヘンでも、乗降口の高さが30cmの全低床車 (低床車率 (注1) 100%) が活躍しています。

「路面電車「復権」——。私たちが新聞などを見ると、このような言葉を見かけることが多くなりました。大正七年に札幌電気軌道株式会社が札幌に初めて路面電車を走らせてから今年で八十年。札幌市電を含む路面電車は、なぜ再び注目されるようになったのでしょうか。

明治二十八年に京都市で誕生して以来、路面電車は市民の生活の足として走り続けてきました。しかし、日本が高度成長期に入ると、急速に環境が変わりはじめます。その原因は自動車の普及や地下鉄の建設などによる交通事情の大きな変化。路面電車は不要とされ、利用者は徐々に減っていききました。札幌市でも、昭和三十九年を頂点に市電の利用者は減少を続けました。そして、二十四・九五六歳あった営業路線は、昭和四十六年から四十九年のわずか三年の間に次々と廃止・縮小され、現在の八・四六五歳を残すのみとなりました。それです。

しかし、札幌市が地下鉄建設に沸いていたころ、欧米では省エネルギーなどを目的に、路面電車の見直しが始まっていました。LRT (注2) が登場したのもこのころのことです。当時は地球環境に対する負担が少ないことが注目点でしたが、その後、高齢者や身障者、子供連れでも乗りやすい低床車が開発され、高い評価を受けました。



日本

日本で唯一走っている熊本市のLRTは、ベルリンのLRTに改良を加えたものです。よく見てみると、車両の色は違いますが、同じ顔をしています。

フランス

流線型の車体がおしゃれなストラスブールのLRT。まわりの木々や芝生など緑との調和も見事で、車両を製造する際の心くばりが感じられます。



ポルトガル

首都リスボンで走っているのは、低床車率70%の半低床車。女性の運転手が運転しています。



オーストリア

この状態でも十分に乗降口の低いウィーンのLRTは、油圧であと10cm車体を下げることができます。



ベルギー

奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

トレイルビークル」と呼ばれています。従来の電車より輸送力や速度の面で改善され、なかには時速100kmで走るものもあります。また、最新の技術により開発された低床式車両は、84年にスイスのジュネーブに登場して以来、LRTの飛躍的な発展に一役買っています。

LRTの車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

車両は、LRV (Light Rail Vehicle = ライト

レール)

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

◆ 奇抜な色でひときわ目立つブリュッセルのLRT。小さな子供が喜びそうです。

パネル展 「市電のある風景」

昨年も、6月10日の「路(6)面電(10)車」の日を記念して、さっぽろ地下街オーロラスクエアでパネル展が開催され、6月10日から16日の期間中、多くの市民が昔の市電の写真に足を止め、見入っていました。



大正9年の札幌停車場（現・札幌駅）



昭和25年の北5条西5丁目こ線橋



昭和36年の南22条付近（親子電車）



「市電の絵」作品コンクール

中央区内の幼稚園児と小学生を対象に行われた「市電の絵」作品コンクール。今年は応募総数484点の中から優秀作品35点が選ばれ、2月16日から22日の7日間、ギャラリー電車として営業運行した市電に展示されました。



優秀作品の一部です。どうぞご覧ください。

市電のふるさと

TOPICS

トピックス

この一年の市電に関する行事を紹介します



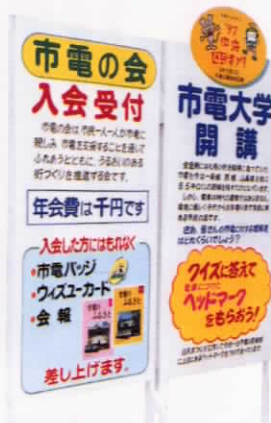
市電のふるさと'97中央区民まつり

昨年8月10日、中島公園自由広場に会場を移して開催された区民まつりでは、さまざまな催しが行われ、訪れた人は楽しい一日を過ごしました。

市電に関する問題に挑戦した市電大学。全問正解者の中から抽選で20人に、まつり電車のヘッドマークが送られました。



ファンを喜ばせた市電グッズ販売



▲ 当日は約2万人が会場を訪れました

ヘッドマークを付けて運行されたまつり電車 ▶



電 市 まめ知識

あの美声の主はダレ? 市電アナウンス

announce

「いつも市電をご利用いただき、ありがとうございます。……。」市電に乗ると、必ず聞こえてくるこのアナウンス。普段なにげなく聞いていますが、この声の主が一体だれなのか、市電に乗りながら、ふと考えたことはありませんか。

西区二十四軒にあるファーストソニック。ここで市電のアナウンスの録音は行われています。そして、市電のアナウンスを担当しているのが、上田なおみさんです。上田さんはアナウンスの仕事を始め、現在、オフィス312という事務所所属し、テレビコマースシャルのナレーターやラジオ番組のパーソナリティー（HBCラジオ「土曜はEじゃん」）などの仕事もしています。

「この仕事は、所属している劇団の紹介で始めました。『劇団シアターII』というアマチュア劇団で、実は明日も舞台があるんです」と語る上田さん。最



のどの調子を整えるため、録音の際は必ず龍角散を置いておきます。

初はこまごまとした仕事をこなしていたという彼女ですが、現在ではテレビやラジオにも活躍の場を広げています。当然、自分の声を耳にする機会も多いはず。でも「慣れてしまいました」と、もうほとんど意識していない様子です。上田さんが市電の停留所案内の仕事をするようになったのは、四年前。だいたい年に一回、十時間かけて行われる市電アナウンスの録音は、利用者に違和感を与えないために、すべて上田さんの声で録音されます。「停留所案内の仕事は、ほかの仕事と



『電車でGO!』は、家庭用ゲーム機でも発売されています。(資料提供・株式会社タイトー)



運転手はキミだ 電車でGO!

は違ったところに気を使います。例えばテレビのコマーシャルだと、見ている人の注意を引くようなナレーションを心がけますが、停留所案内の場合は逆にできるだけ邪魔にならないアナウンスを心がけます。市電を含め公共交通機関は、通勤や通学で利用している人にとって、生活の一部となっていていから、仕事で疲れている人にも耳障りにならない、それでいて聞きやすいアナウンスが必要なんです。このため上田さんは早すぎずハッキリと発音す

「一度でいいから電車の運転をしてみたい」。小さなころ、こんなあこがれを抱いていた人も多いはず。『電車でGO!』は、実在する路線の周辺の景色や車内アナウンス、踏切の音などをコンピュータで再現し、電車の運転を疑似体験できるというもの。時刻表通りに駅に到着し、なおかつ停車線で止まらないと減点されてしまうので、ゲームとはいえ本格的です。残念なことに、まだ路面電車を扱ったゲームはありませんが、札幌の街並みを楽しめるゲームなどがあつたら人気を博しそうです。

ることをいつも意識しているとのこと。取材したのは、少しずつ冬の訪れが感じられるようになってきた頃。「かぜをひきはじめたと思ったら、ぬれマスクをします。結構効きますよ」と、にっこり笑って、上田さんは仕事へ戻っていききました。

game

News 1 路面電車サミット'97 in OKAYAMA 開催

昨年(1996年)の5月31日から6月1日の2日間、岡山市で「路面電車サミット'97inOKAYAMA」が開催されました。

(主催：全国路面電車愛好支援団体協議会)

今回は「人と環境にやさしいトランジットモデルをめざして」をテーマに、さまざまな意見が交わされ、最後に路面電車サミット宣言を採択して、終了しました。

次回サミットは、平成11年に豊橋市で開催の予定。



路面電車サミットシンボルマーク

3・運賃収受システムについて
運転手が運賃の支払いのチェックをしている現在のシステムでは、乗り降りに時間がかかり、路面電車のスムーズな運行は難しい。そこで、市民ワーカーキンググループを設け、外国のシステムなどを参考に研究を行っていく。

2・計画的な情報発信について
新しい路面電車情報を継続的に発信していくために、インターネットを有効に利用することや、二年に一度のサミットの間に、小さい形でも会合を開いていくことなど、検討していく。

1・LRT等、路面電車の新呼称について
現在、LRTやスーパー市電などと呼ばれている新しい路面電車の新呼称を、公募、あるいはアンケートといった形で、利用者の意見を求めながら、今後考えていく。

サミット議事内容

「市電の会」 賛助会員募集

市電の会では、賛助会員を募集しています。市電の好きな方なら個人でも法人やサークルなどの団体でも入会できます。

年会費は、個人千円、団体一万円。会員には、会員バッジを差し上げるほか、会報「市電のふるさと」をお送りします。

入会をご希望の方は、中央区役所や中央区内の各連絡所でお渡ししている入会申込書に入会金を添えて、事務局までお持ちください(郵送でも結構です)。

【申し込み・お問い合わせ】
市電の会事務局(中央区南3条西11丁目 中央区役所総務課企画調整主査) ☎231-2400内線219

News 2 市電初の イルミネーション電車運行

市電誕生70周年を記念した、イルミネーション電車。昨年11月19日から12月7日まで、ササラ電車で電球500個を取り付けるなど、装飾を施して、初めて札幌の街を走りました。



日中と夜では、ずいぶん雰囲気も違います